平成 29 年度　高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

町内会概要			
組織名	守山区町会	代　表	区長　猪俣昭彦 （いのまたあきひこ）
地域（市町村）	県北（郡山市）	加入世帯数 （人数）	500 世帯（1,470 人）

（1）自治会の主な活動

三世代間交流の活動（小正月の集い、盆踊り大会)、児童生徒の登下校時の見守り活動、高齢者間の交流活動（健康づくり)、観光美化活動、子ども育成会・婦人会・老人会等の交流活動ほか

（2）自治会の特徴

郡山市の中心市街地から東南に位置し、地区内に国道 49 号も通り、平安時代には坂上田村麻呂が蝦夷追討の際に守山城を築いたと伝えられる跡地が現在も残る歴史ある地域である。その中において守山地区は準農村地帯で農業世帯も多く、町内会加入率は 92.3%を誇り町内活動も特に活発な地域である。また、昨年には町内に災害復興住宅が完成し、入居者とも交流を頻繁に行い、同じ住民として地域内交流を行っている。

（3）今年度実施事業

守山区町会高齢者支え合いコミュニティ支援事業

（4）事業の主な活動内容

上記、自治会の主な活動に同じ

（5）本活動を実施することの背景

震災以降、放射能汚染による風評被害等により町内会活動も縮小傾向にあった。町内会活動の軸となる高齢者世帯が元気になるよう、高齢者世帯への支援中心に、また運営側においても無理せず出来る範囲内で活動が長く継続できるよう、事業を展開していきたいと考えた。

＜たくさんの人が集う守山町内会行事＞

毎年 1 月の第 4 日曜日に「守山小正月の集い」を開催している。午前はだんご差し・餅つき、午後は芸能祭を行い、幼児から高齢の方まで総勢 300 人以上が参加する地域の大きな行事の一つである。区長の猪俣さんは「町内会事業の中心となるのは高齢者であり、その高齢者が楽しく・無理せず・末永く活動できるよう工夫をするのが町内会の役割の一つではないか。その為に区長は、町民の皆さんの話をよく聞き・よく動くことだと思う」と話される。たくさんの人が集まる小正月の集いには、たくさんの笑顔があふれていた。

活　動　内　容

①区長の猪俣昭彦さんは、就職でこの地域に移り住んで 50 年以上経つ。「地域の手となり、足となって動くのが役目と考える」とのこと。

②地域の婦人会、青年会、消防班の多くの協力の中、子供たちは楽しそうに餅つきを行っていた。

③親戚の家に来たように集会所（守山会館）に入った子供達は、慣れた手つきで団子さしを楽しんでいた。